

2024年度 大学院生アンケート【保健医療学研究科】集計結果

このアンケートは、大学院の学生を対象に「意欲」「成長実感・満足度」を問うものです。

●実施期間：2025年1月27日～2025年3月14日

●対象学生：アンケート開始時点で在籍している大学院生（※休停学、留学中の学生は除く）

■回答率

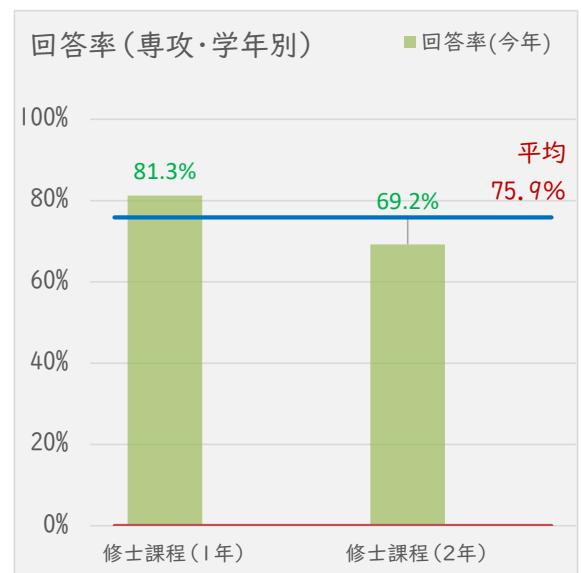
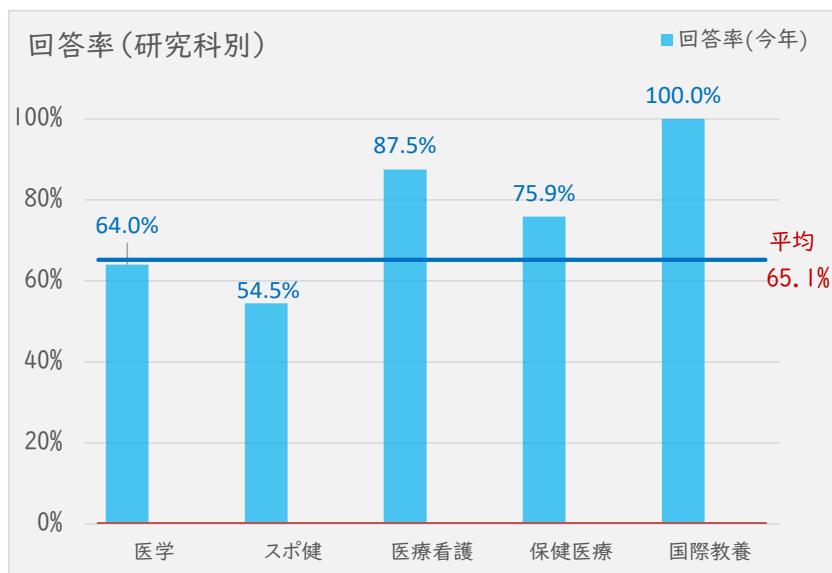
大学院生アンケート	今年度							昨年度		
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者
医学研究科	63.9%	—	2.42%	590名	—	332名	922名	—		
スポーツ健康科学研究科	54.49%	—	6.71%	97名	—	81名	178名	—		
医療看護学研究科	87.50%	—	3.78%	84名	—	12名	96名	—	2024年度より開始	
保健医療学研究科	75.86%	—	7.26%	44名	—	14名	58名	—		
国際教養学研究科	100.00%	—	0.00%	8名	—	0名	8名	—		
★全学部合計(平均)	65.21%	—	2.01%	823名	—	439名	1262名	—	—	—

保健医療学研究科 (専攻・学年別)	今年度							昨年度		
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者
修士課程・1年生	81.25%	—	8.32%	26名	—	6名	32名	—		
修士課程・2年生	69.23%	—	12.81%	18名	—	8名	26名	—	2024年度より開始	
修士課程(平均)	75.86%	—	7.26%	44名	—	14名	58名	—		
★全学部合計(平均)	75.86%	—	7.26%	44名	—	14名	58名	—	—	—

* 許容誤差：信頼水準95%の場合、母集団からどの位の誤差が生じているかを表す指標（推奨目安：5%以内）

※ 表内色種：上位1項目：緑背景、平均以下：赤背景、許容誤差については5%以上が赤背景

※ 国際教養学研究科：2024年度 第1期生



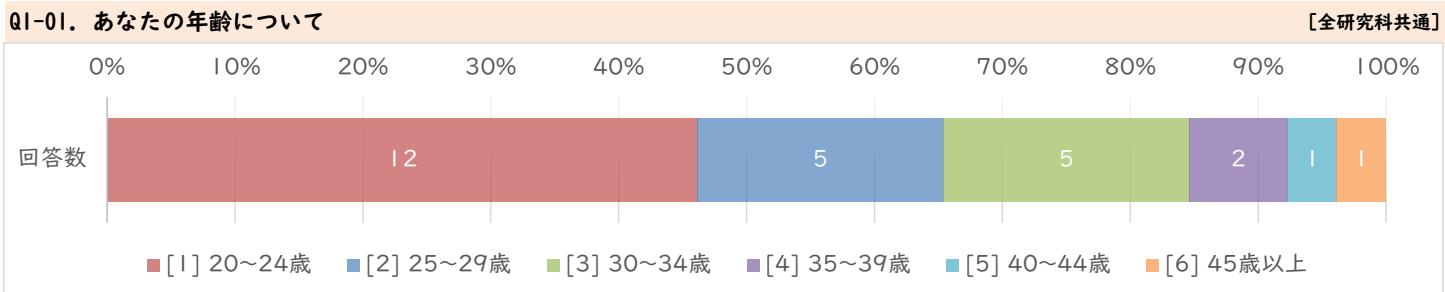
■アンケート結果

※グラフ中の数値は回答数

【I. 研究科共通の基本的な設問】

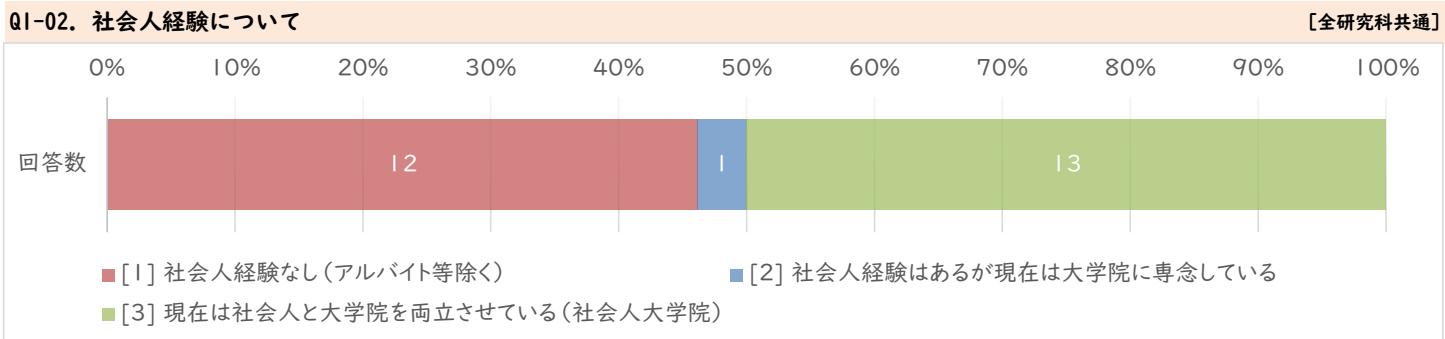
各課程の1年生のみ対象

N=26



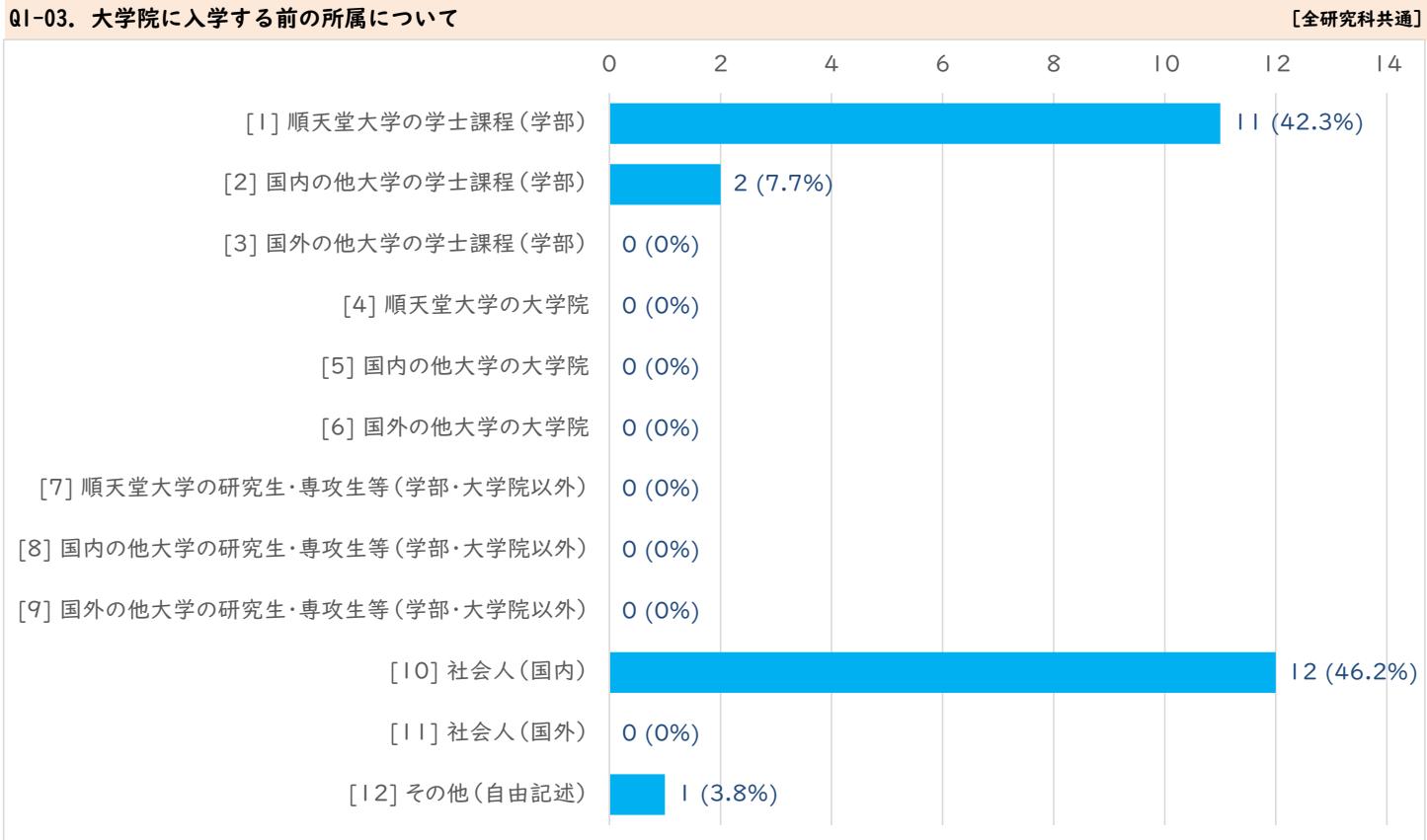
※各課程の1年生のみ対象

N=26



※各課程の1年生のみ対象

N=26



【その他】 ・国内の専門学校

【I. 研究科共通の基本的な設問】

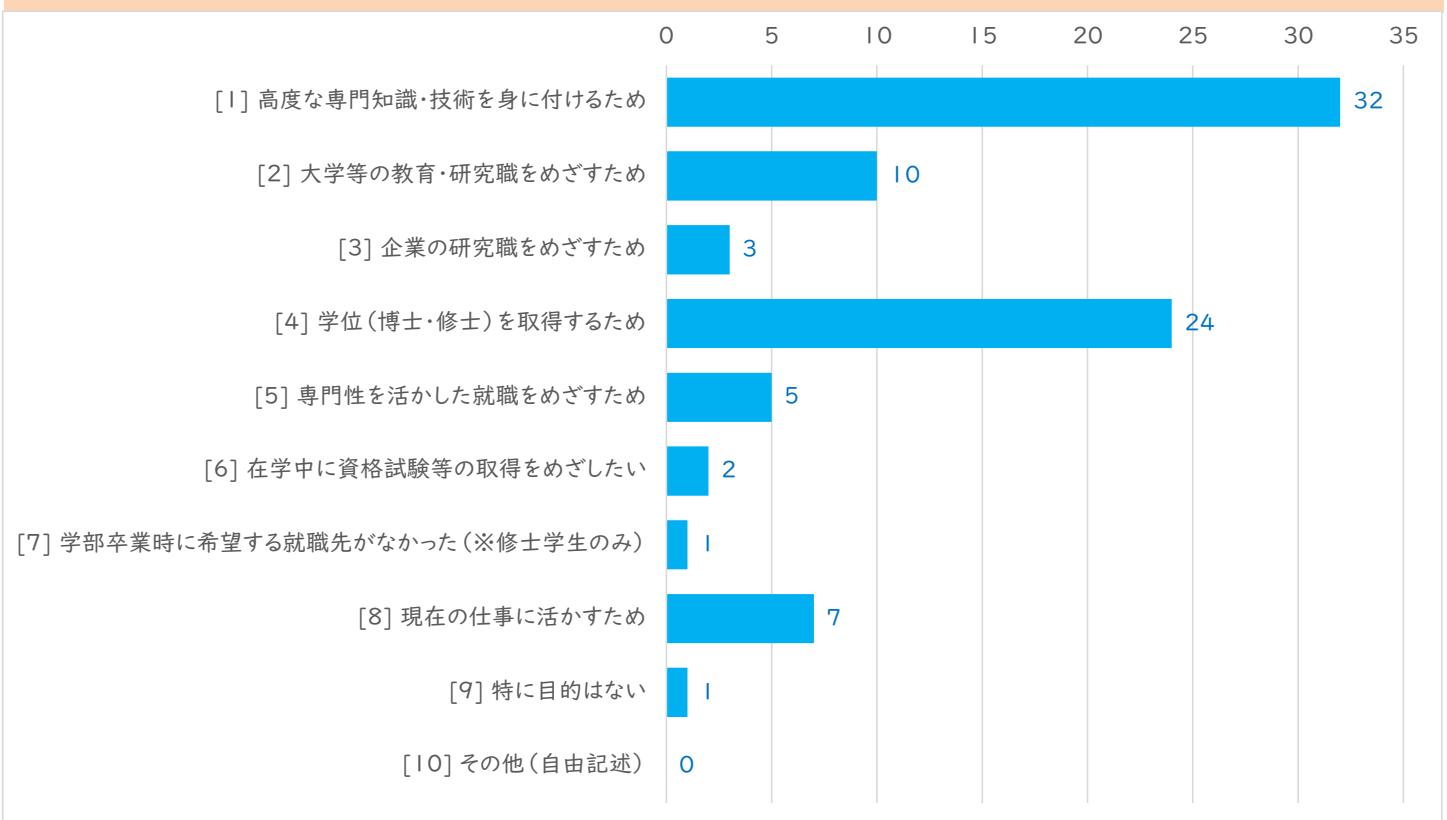
(続き)

※ 保健医療学研究科生 全員対象

MAの回答数合計 → N=85

QI-04. 大学院に入学した目的はどれにあたりますか。 (2つ迄選んでください)

[全研究科共通]



※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

QI-05. 授業科目の履修にあたって「シラバス」の情報は役にたちましたか。

[全研究科共通]



※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

QI-06. 大学・研究室の設備・機器・什器備品には満足していますか。

[全研究科共通]



※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

QI-07. あなたは自分が所属する研究科・専攻のディプロマポリシー(DP)を知っていますか。

[全研究科共通]



【I. 研究科共通の基本的な設問】

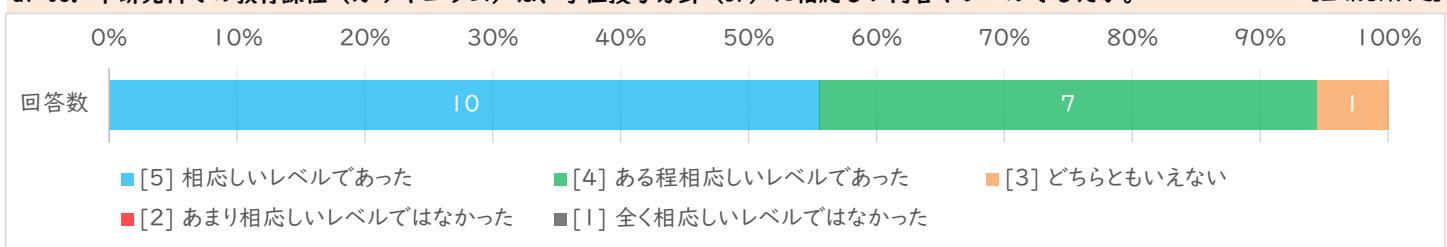
(続き)

※ 最終学年の学生のみ対象

N=18

QI-08. 本研究科での教育課程（カリキュラム）は、学位授与方針（DP）に相応しい内容やレベルでしたか。

[全研究科共通]



※ 最終学年の学生のみ対象

N=18

QI-09. 研究テーマ選択の自由度はありましたか。

[全研究科共通]

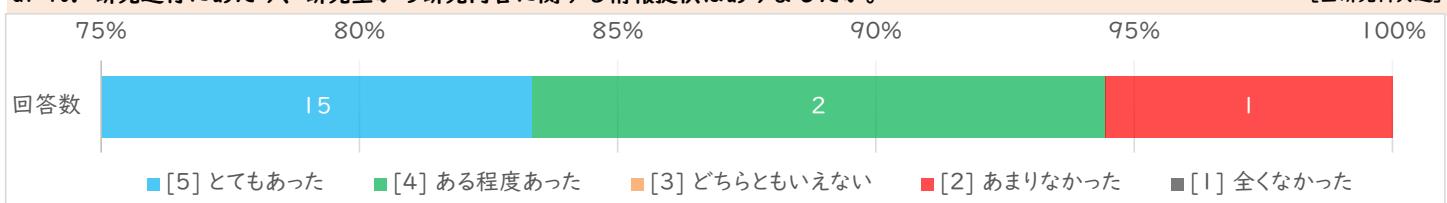


※ 最終学年の学生のみ対象

N=18

QI-10. 研究遂行にあたり、研究室から研究内容に関する情報提供はありましたか。

[全研究科共通]

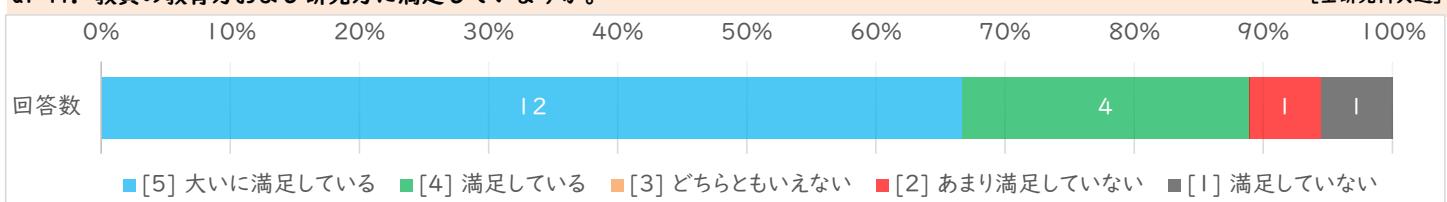


※ 最終学年の学生のみ対象

N=18

QI-11. 教員の教育力および研究力に満足していますか。

[全研究科共通]



※ 最終学年の学生のみ対象

N=18

QI-12. 大学院生に対する奨学金、TA・RA等の経済的支援は十分でしたか。

[全研究科共通]



※ 英語・日本語を母国語としない学生のみ対象

N=0

QI-13. 英語・日本語を身につける必要性を感じていますか。

[全研究科共通]



【2. 高度な専門知識・技能及び対応力に関する設問】

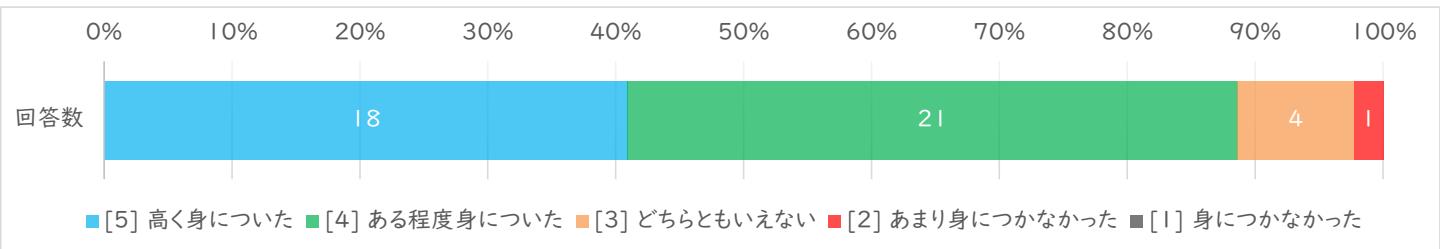
※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

Q2-01. 専門領域の基礎的知識を収集する能力が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



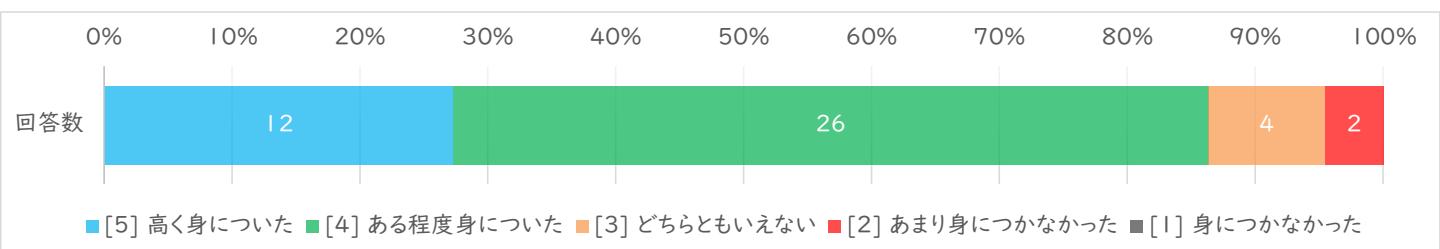
※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

Q2-02. 専門領域における未解決問題を導き出す能力が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



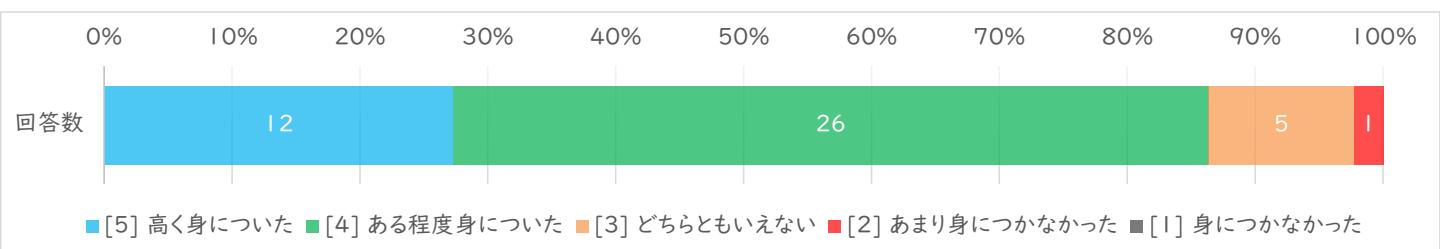
※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

Q2-03. 専門領域に関する知識を問題解決に応用する能力が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



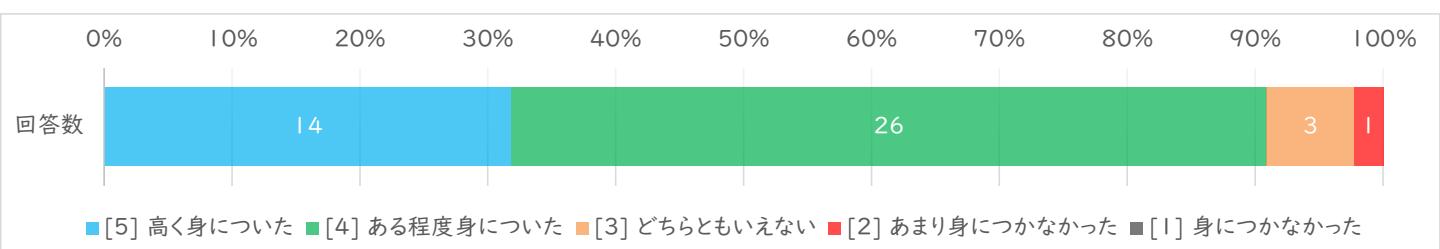
※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

Q2-04. 結論および結論を導き出す過程を論理的に考え結論を導き出す能力が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



【3. 高度な教養及び国際性に関する設問】

※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

Q3-01. 大学院へ入学し、グローバルな視点から多面的にものごとを考える能力が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

Q3-02. 社会の諸問題を理解し、問題解決に主体的に取り組む姿勢が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



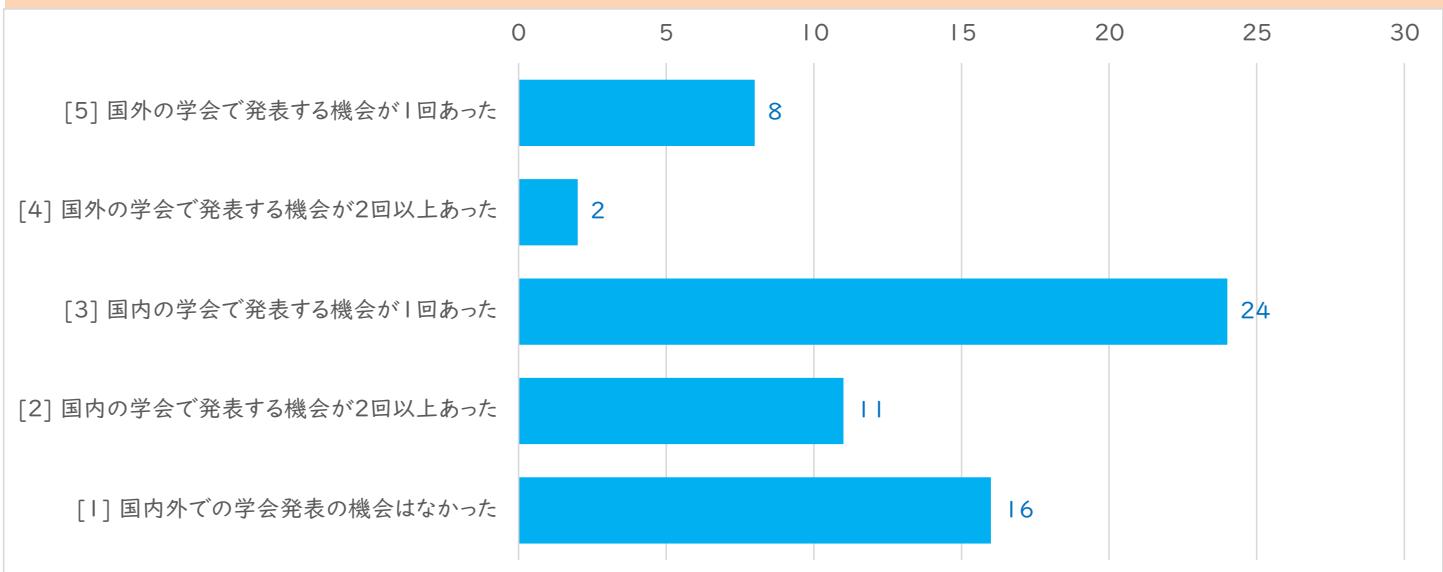
※ 保健医療学研究科生 全員対象

MAの回答数合計 → N=61

Q3-03. 専門領域に関する知識を国内外の学会で発表する機会がありましたか（在学期間中）

※複数回答可

[全研究科共通]



※ 保健医療学研究科生 全員対象

N=44

Q3-04. 國際的に活動し国際社会に貢献する高い意識と意欲が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



【 α . その他（研究科別）】

※ 保健医療学研究科生 全員対象

Q α -01. 以下は、保健医療学研究科のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）です。
それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

[研究科別]

<理学療法学専攻（修士課程）>

N=30

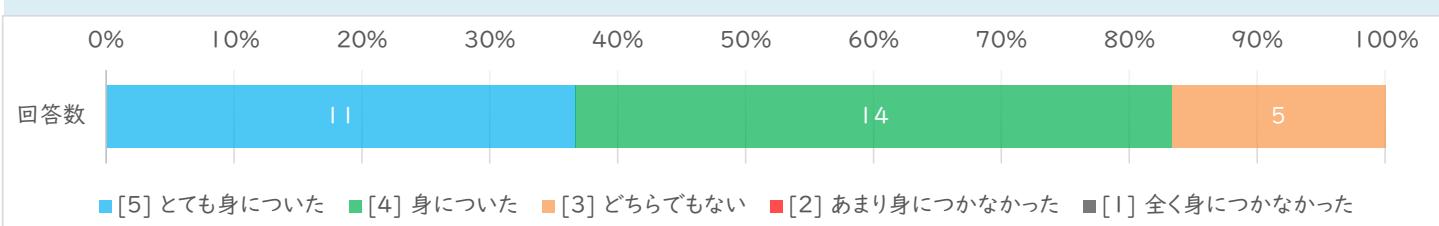
① 人体の機能・構造を多面的に理解し、理学療法学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力



<理学療法学専攻（修士課程）>

N=30

② 理学療法学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割や理学療法学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力



<理学療法学専攻（修士課程）>

N=30

③ 科学的根拠に裏付けされた理学療法学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力



<理学療法学専攻（修士課程）>

N=30

④ 理学療法学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力



【 α . その他（研究科別）】

(続き)

※ 保健医療学研究科生 全員対象

Q α -01. 以下は、保健医療学研究科のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）です。
それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

[研究科別]
(続き)

<診療放射線学専攻（修士課程）>

N=14

① 人体の機能・構造を多面的に理解し、診療放射線学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力



<診療放射線学専攻（修士課程）>

N=14

② 診療放射線学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割や診療放射線学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力



<診療放射線学専攻（修士課程）>

N=14

③ 科学的根拠に裏付けされた診療放射線学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力



<診療放射線学専攻（修士課程）>

N=14

④ 診療放射線学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力



End